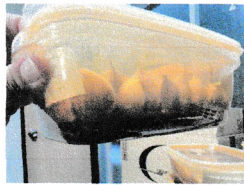


就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ワークサポート リード倉永	事業所番号	4014400768
住 所	福岡県大字倉永83番地27	管理者名	小山 美樹
電話番号	0944-41-6377	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所 福岡県大牟田市：有限会社山田屋茶舗 実施日程 令和6年4月1日～令和7年3月31日 実施した生産活動の概要 お茶の香り付き黒にんにくの商品開発と縫製品の販売先として設置 利用者数 等 3～5名程度／支援員1～2名		<活動の様子>      	
<目的> 地域連携活動のねらい、地域にとってのメリット、対象者にとってのメリット ①障がいへの偏見や差別が少なくなり、より一層の理解を深められる。 ②利用者の技量や能力の向上と地元企業による障がい者への就業による評価が得られる。 ③利用者の就労への意欲、やりがいや自信に繋がる。 ④地域企業の障がい者雇用への繋ぐ糸口となり、雇用に対する取り組みへの向上に繋がる。 ⑤地域企業が事業所と連携することによって、事業所が得意とする分野による商品企画や生産・陳列・販売等することで新たな商品の取り扱いができ、障がい者（利用者）の手により生産された商品としての付加価値があるため、地域企業の集客率の確保及び収益の拡大などに繋がる。 ⑥地域企業において社会貢献の一環としての取り組みができること。			
<成果> 実施した結果 昨年に引き続き、生産活動に取り組み一定の商品への認知と問い合わせ等もある。香り付き黒にんにくは開発途中で来年も引き続き取り組む。 得られた成果 地域の祭りやイベント、販売会等の出店も行え、利用者さんの意欲向上へつながっている。お茶の香り付き黒にんにくは開発途中で、試作品の試食ではよりフルーティーな味になり好評だった。 課題点 今後も丁寧かつ、流行や需要の情報を企業を交えながら検討していく必要がある。 お茶の香り付き黒にんにくは開発途中で、時間が経つと風味がなくなる課題点がある。今後も試行錯誤しながら商品開発に取り組んでいく。			

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価	イベントや催し時の広告等の集客アイテムとしても有効活用ができていますし、地域社会を盛り上げる取組としても、障がいをお持ちの皆さんとともに、色々な商品開発や作業依頼ができ、販売等では関わり合いができるよい機会となっています。来年度も引き続き一緒に連携して商品開発をしていきたいと思っています。		
今後の連携強化に向けた課題	今後も引き続きお付き合い頂き、商品を企画や商品の提供・イベントへの参加等をお願いしたいです。課題としては、今後も、年齢層に応じた商品開発を継続して取り組んでいくことが必要かと思われます。 黒にんにくは開発途中で、リードと弊社が意見を出し合いながら、販売実現に繋げて行く事が課題である		
連携先企業名	大牟田市上町2丁目3番地3 有限会社 山田屋茶舗 代表取締役 山田 耕 治	担当者名	有限会社山田屋茶舗 山田 真衣 様